

離島甲子園に参加して

岡部 隼

離島甲子園に参加して良かった事は三つあり
ります。

一つ目に集団行動の大切さです。愛媛に着
くまでの船に乗りたり、飛行機に乗りたりす
る際に周りのお客さんに迷惑をかけたりしな
いように心がける事ができました。宿舎の方
やお世話になられた方々にも気をつけて生活し
ました。

二つ目に他の学校の人達との交流の大切さ
です。最初はライバル心がほとんどで交流な
どあまり思っていまませんでした。しかし宿舎
の中などであいさつを交わしているうちに自
然と話しかける事ができ、特に大島中学校の
人達とは仲良くなる事ができました。

三つ目にお世話になられた方々への感謝です
。宿舎の方や計画を立て実行してくれた方々
に感謝の気持ちでいっぱいです。

その方達のおかげで安全に過ごすことがで

きました。来年も練習をがんばり今年より更に強くなつて離島甲子園に望みたいです。よろしくお願ひします。

「思ったこと」

櫻庭 耕人

僕は、大会中、セカンドを守りました。離島甲子園の試合や、試合後のパーティーなどで他校の中学生と交流して思ったことがあつます。それは、しっかり人の話を聞く時は、聞く、チームでふかせたりする時は、ふやけること、心を変えるのが、うまいということ。試合後のパーティーで、みんな話を聞いて、食事の時は、みんな一緒に楽しんでいました。

た。それは、すっぴいと僕は思います。その他に、パーティーで島のこととか、野球のこととかを、前にいたチームと、話したのが、楽しかったです。

上島町は、人や、自然があり、平和な所がいい町だなと思いました。そして、ビックリしたことが、島と島がわかれて、移動するときに、少し大きな船を使い移動するということです。ぼくは、船が好きなので、たくさん移動するということがあったのですごく、楽し

しく、嬉しかったです。

旅館の人にも、お世話になりました。試合から帰ってくる時、部屋にふとんがひいてありました。びっくりしました。その他にも、食事の時などに、みそしるとご飯をもつてもらったりと、旅館の方々に本当にお世話になりました。

僕は、試合には勝てなかったけど、色々なチームとの交流とか、お世話になった方々に、本当に良い学習になりました。もう、一

年生の半分は終わってしまったけど、まだまだ時間があるので、たくさん練習して、うまくなりたいです。

「試合や練習について」

佐藤 義人

僕は、今年初めて離島甲子園に行きました。
行く前バの中で

「うまく守備できるかな？」

とか

「ちやんとふってボール打てるかな？」

と思ひながら試合に行きました。でもこのこ
とは、全て練習の中に入っていることです。

僕は、ふだん練習中に思っただことかありま

す。

一つ目は、ボールがとれなくてもかんばんる
気持ちや努力があれば取れなかったボールも
しっかとり取れると僕は思いました。

二つ目は、バットでボールをしっかきあて
ることは、大事である。バットをうまくふれ
なくても、もっとも練習すればきことい
本か二本は、うてるようになると思ひました。

三つ目は、もっと勇気を持てるようにした
りと思ひました。僕はいつも失財するなせ

かおあさんでしまります。そこもをとなお
したりです。

試合では、一試合目は、上島と戦いとても
くやしい結果になってしまいました。でも僕
にとっでは、いい経験だと思いました。

来年の離島甲子園は、八丈島ですが村田兆
治さんの

口夢と希望と勇氣口

を志分かれずに練習や練習試合をやっ
てりきた
りです。今年の離島甲子園は、とてもよかっ

た、離島甲子園だった。

「離島親子園」に行くと

鈴木 謙太郎

田くは音島早方園へ行つて一糸巻はなつたのは上島町の人たちです。田くはは上島町のいそいそな方にはお世話になりました。そして他の野球部のみまといと仲良く食事をして遊びたりしました。でもみんな下町直まといたかっ左けいとあつた。右の左残板はです。下も他の野球部と交流できたのでよかっ左です。他の野球部とはいそいそ話をしてました。

まを会ふ右にいねなど話をしました。

まをの朝西時半に起き野球道具の準備が早く終るようたかば、左けい時間やりやりたつた最終日にたつておつちやんと早く準備がたまるようになつた。田くは練習におまをにたかっ左せら下試合にたおません下し左。来年はとまをうしろはいいなりです。田くは練習におまをり来なかつたのでしそこうしにたかばなかつたと思ひました。田くは宿題をやらかつた。左の下あまを練習におまを

か
つ
ち
の
か
し
か
ユ
ラ
ー
に
入
い
ま
せ
た
い
理
由
が
と
思
い
ま
し
た
。

「離島甲子園を終えて」

前澤 大河

早くは離島甲子園を終えて、試合をやつて
買けた作本は三点をとりこもできたし都大
会の時よりモたのじい誠意をま たんじや
うぬと思ひました。

船や飛行機に乗って上島町にいつて試合を
やつたり、野球を教えてもつたり、サエナラ
バリーエーをやつたりしていろいろなことを
学んたので、交流をふかぬたのじいのためよっか

つたです。

試合をやつていて、ムードがよるときは
みんちがらぬあつとけうことをまなびました。

離島甲子園は誠意な心で学べることもあ
しいろいろな人との交流のためできよつた
のたと思ひます。

たくさとの下に、感謝

宮澤 顕伸

おくとちは、この前に行った離島大会で思
ったことが二つあります。

一つ目は、初めてきた愛媛の上島町は、船
や飛行機に乗ってつかえたりしたけど、きえ
いなところがたくさんありました。ぼくたち
は、上島町のホテルにとめてくれてありがた
うございます。ホテルでは、さぼりの用意を
してくれたり、部屋に来てくれて部屋をきえ
いにしてくれて、ありがとうございます。
いろいろあがないてくれたちをとめて
くれて、ほんとに感謝したいです。

二つ目は、野球のことです。試合をやる前の
練習や実際に試合をやったのを感じたこと。守
練習は、最初のキャッチボールをしていると
きにへんなところに投げたしまつて自分の思
ったプレーができませんでした。バットをあ
てる時は、ボールにあたりなかつたり、あた
って、へんなところにいってしまったりし

ました。試合では、早くは、最初に、サード
をやったけれど、三回につくはずだったん
ですけど、いいいなかっただけでした。でも、
ついていても、逆にベースからは見えるタイ
ミングが良かったりして、よかったでも、一アウ
トができた時は、とてうれしかったです。

「初めての離島甲子園」

浅河 優

ぼくが、離島甲子園で野球をして、一番印象に残っている事は、ヒットを打った事です。離島甲子園の前の大会の都大会では、レギュラーにはなれただけで、バッターになる前に他の人と交代したので、打つことができませんでした。でも離島甲子園では、初めてヒットを打てました。ぼくが打ったボールは、内野ゴロだったので、次はもっと練習して、来

年は外野まで打てるようにしたいです。外の離島の中学生を見て、思っている事は、みんな速い球を投げているし、プレーがとってもうまいと思います。ぼくは、全く速い球を投げられないし、少しもうまくありません。なので、プレーがうまくなるといつかの練習を心がけようと思いました。来年は一勝することが出来るようがんばろうと思います。

「僕たちの成長」

鈴木 匡

僕は、今年で野球をやめて2年目です。前は試合のときに緊張しすぎてエライかとても多く見られました。でも、今年は違います。その違うところか緊張をすこしなくして大きい声で変えました。それが僕が試合にとっても印象に残っています。でも一つだけ一番残っていることかあります。それは前の試合より点を入れることかできるようになりました。

でもこの年で満足していません。来年はもう一つ上を目指してまだ足りない部分はいっぱいあるけれどこの年から二年生が中心になるのかんばっていきたいと思います。技術面や体力などではあまりないけれど僕たちは下手くそなりに下手くそなつれでもほかのチームか出さないこと沢山やっつけていきたいと思います。今年には負けたけれど負けた部分をばねにして来年は一勝や二勝とかんばりたいと思います。

二年目の離島甲子園

宮沢 佑基

今年で二回目の離島甲子園出場をしました。去年の離島甲子園の会場だった種子島は、島全体が広く、三ツも市がありました。今年の会場にたつた会場の上島町は、たくさん島の島があつ、船で移動する時も、海と陸が近かたので、三宅島では見ることもかひきない自然の光景が見ることができてよかつたです。上島みたいな陸に近い所は見たいことがないので

まに行きたいです。他の試合を見てすごい勉強に存りました。それは自分のホジヨコの人がかん動きをしているのを見ているところかすごい勉強になりました。見本になったことは、ボールもきちんと取つてアーストに送球するといふことかとても参考になりました。なせこのプレーが参考になつたのかは、たのはいボールが来ると少しあせつてしまつて、ステップが変になつてしまふからです。野球教室では、守備力を上げるためにはまがキツ

チホールの大切だと分かりました。理由は、
ホールのうまく取った後にステツが変になっ
たッ、相手の胸にうまくホールを投げさ
えな
いと、うまく守備がびきないチームになっ
てし
まうことかおかッました。なのびますほ、
ち
と相手にホールを投げることから始
めた
たんかんレールを上げ、夏頃までには
ちヤ
んと胸にホールを投げるようにして、あ
まッ
エラー、あく送球がないようにしたい
ので、
キヤツチホールを大切にしたいです。
離島甲

子園では、一勝していいないのでしたいです。

「初めての打点」

二年

吉田

五人

ぼくは第四回の~~東~~島甲子園にして初めての試合に出ることができました。去年は足の怪我で試合に出ることができませんでした。ぼく達の三宅中学校は41人の人数を少く練習できる数もとても少ないのでとても弱く今まで試合に勝つどころかヒツトを全く打てませんでした。去年試合を見ていて全く打てず点ばかり入ってしまった。去年試合を覚えても悔しかうたえず。

だから今年にはヒツトをみんなで打ち一点から取っていく試合にしようと思ひました。試合の結果は去年と同じですごく得点を入れられしまいました。僕達もヒツトをフナギ点を入れることができました。試合には負けなくてもみんなヒツトをフナギ点を入れたときとても野球の楽しさを取れたことの喜びを感じました。これからもう少し努力をしいいプレイをできるようにがんばりたいです。

「離島甲子園の作文」

三年 佐藤 大樹

僕が、離島甲子園で印象に残っているのは
チームみんなで頑張った事です。なぜかとい
うと僕のチームはなかなか点がはいりません。
打ったと思ったらアウトにされたり、あとも
うすこしで点がいるところでアウトになっ
てしまいます。でも今回の試合では、みんな
が声をだしたりしたり、あきらめずにやった
ので点が入ったのだと思います。でも最後は
まけたけど色々な事を学べたのでよかったです。

決勝せんが終わった後は、さよならパーティ
イもしました。このパーティーはほかのチ
ームと交流をしてやりました。このパーティ
ィで2つのチームと仲が良くなりました。と
ても楽しかったです。

3回目の離島大会

深瀬 透

僕がこの離島大会をしてみて今日は特に思
い出に残りました。理由は、はじめに離島の
人と友達になれたというのと一回だけの点で
太さえたからです。

一つめの離島の人はじめに友達になれた
というのは、さっかには大会最後の日に一度
荷物を置くために一度公民館へ行き試合まで
のあいだとどろりが大島のチームの人達と自分

と一年の後輩と一緒に話をしました。そして
その中の一人と仲良くなり後輩が電話番号を
聞いたらしいので僕も電話番号を島に帰った
後の学校のある日にその組をもらいました。

電話をした元気そうでした。
このめの点で太さえたというのは、公式
戦で地元の子と戦った時に、ちようど
5回表ぐらいの時にみんなが指示しあいが
らアウトを取られて点で太さえられたのがよ

か。たです。結局試合は負けたのですが、目

でも、点で表すことが出来たのが良かったです。
この大会を通じて学んだことは仲間との
声の掛け合いの大切さ、他の島との交流の楽し
さです。

声の掛け合いは野球以外にも作業をする時
に自分がいることがわかるように声で伝える
など普段している事を気をつけるようにしてい
きました。もう一つの交流の楽しさとい
うのは、さっきも書いた離島の友達ができた
というようにこの大会の目的の一つの他の島

との交流が十分達成できたと思います。それ
に自分的にも楽しかった。なのでまた機会があ
ればしたいです。

楽しかった。

山田 塁

僕は、今回の離島甲子園が一番楽しかったです。なぜなら、三年最後にとっても楽しい試合が出来たからです。その試合は、上島とのものでした。相手は地元でとても多くの方々からの応援を受け強そうです。僕たちなんて弱いし試合にボロ負けすることなんて最初から分かっていました。だから僕は、勝つことじゃなく、楽しく元気よくというのを決め、

試合にのぞみました。

初回から五点とられました。おちこみまされたが元気良くいきました。そうしたら、三回は無失点におさえることが出来ました。その時はとても楽しかったです。しかし、次の回、大失点をしておちこみしました。そんな中僕の前バッターが出塁しました。そして僕も出塁しました。塁にいる時はとてもドキドキしていました。そして、次のバッターが長打を打ちました。おもいきり走りました。

走っている時は、とても気持ち良かったです。
そしてホームをふんだ時は、本当に楽しい気
持ちになりました。野球の楽しみってこうい
うものなんだなあと感じました。結局、ボロ
負けでした。点が取れたこともあって、本当
に楽しかったです。

僕たちみたいにな弱小チームを参加させてく
れた方々や、支えてくれた方々に、本当に
感謝したいです。

とても楽しかったです。